

令和8年度 先生のための 木と森と水の 講習会 in 小田原

豊かな森林と清らかな水、木材産業や伝統文化が息づく小田原をフィールドに、森林・林業・木材利用の価値を体感的に学びます。授業づくりやESD実践につなげるヒントが見つかります。



水源林ガイドウォーク

辻村農園・山林を歩き、
水源や森林の価値を学ぶ



貯木場・製材所見学

木材が製品になるまでの
流れや地域の林業・
木材産業を知る



箱根寄木細工を学ぶ

伝統工芸に触れ、
木の文化や技の
継承を体験



地球資源環境を学ぶ

森・川・里・海のつながりや
地域資源の循環について
考える

参加費

無料

(昼食代1,000円)
税込を当日集金

教員同士の交流

実践や課題を共有し、
学び合うネットワーク
を広げる

開催日

令和8年 7月12日(日)
8:45~16:00 (小田原駅集合・解散)

対象

教員・ESD関係者・ユネスコスクール関係者

定員

20名程度(先着順)
※視察目的のオブザーバー参加もあります(若干名)

参加費

無料(昼食代として当日1,000円(税込)を集金します)

集合場所

JR小田原駅 西口 北条早雲公像前
※小田原駅までの交通費は各自ご負担ください。
集合から解散までの移動は主催側手配のバスにて行います。

主催

一般社団法人 日本ウッドデザイン協会(JWDA)

共催

小田原市(予定)

後援

林野庁/国土緑化推進機構

協力

小田原市森林組合/かながわユネスコスクールネットワーク

お申込みはこちら

申込〆切延長
7月3日(金)まで

令和8年度 先生のための木と森と水の講習会

📱 申込フォーム(Googleフォーム)



スマートフォンで読み取ってお申してください

申込締切

令和8年 6月26日(金)

※定員に達し次第、締切とさせていただきます。

過去実施例(授業・施設見学の様子)

※写真はイメージです



1 水源と森林

清らかな水を育む森を歩き、
森林の働きや生物多様性を学ぶ



2 貯木場・製材所見学

小田原市森林組合の貯木場・
製材所を見学し、地域の林業・
木材産業を知る



3 箱根寄木細工体験

伝統工芸に触れ、木の文化や
技の継承を体験する



4 木質化された教育空間 (過去実施例)

木のぬくもりが広がる空間が、
学びやすい環境づくりにつながる



5 木材利用施設見学

地域の木を活かした建築や
施設を見て活用の広がりを学ぶ

■プログラム

小田原は、城下町以前から箱根・丹沢につながる森と相模湾の海の結節点として、木材や薪・炭などを供給しながら発展し、小田原城をはじめとした建築物から箱根寄木細工に代表される伝統工芸、木工団地の産業、海のかまぼこ板に至るまで、森林が文化と産業を育んできた自然資源循環型の都市です。
このプログラムはそれを体感するものです。

時 間	項 目	内 容
8:45	小田原駅集合	小田原駅西口 北条早雲銅像前
9:00～ 9:15	移動(バス)	わんぱくランド → 辻村農園・山林
9:15～ 9:30	プログラム解説	小田原市農政課・小田原市森林組合・神奈川県木材業協同組合連合会小田原支部
9:30～11:00	辻村山林 水源ガイドウォーク	【見学内容】 水源・300年スギ・遺構・メガソーラー観察 講師：株式会社T-FORESTRY 代表取締役 辻村百樹氏 間伐の見学 講師：小田原市森林組合 佐藤健氏
11:00～11:15	移動(バス)	辻村農園・山林 → 小田原市森林組合貯木場
11:15～11:40	製材所・森林組合貯木場見学	小田原市森林組合 案内
11:40～11:50	移動(徒歩)	貯木場到着
11:50	いこいの森きつつき 着	
11:50～13:00	昼食・休憩	※関係者情報提供
13:00～13:50	講話(1) 箱根寄木細工について	箱根寄木細工講話及びワークショップ 講師：小田原箱根伝統寄木協同組合 理事長 露木清勝氏 ワークショップ 金指クラフト(箱根駅伝トロフィー制作担当)
13:50～14:00	休憩	
14:00～14:25	講話(3) 小田原木材の地域資源循環	小田原木工団地とかまぼこ板について
14:25～14:50	総評 農政課(担当課長)	小田原の森林・林業・木材産業の取組
14:50～15:00	質疑応答	
15:00～15:20	移動(徒歩+バス)	
15:20～15:50	小田原駅ハルネ・ラスカ 見学	木材利用施設・TAKUMI館WAZA屋
15:50～16:00	終礼	
16:00	解散	(懇親会：希望者のみ)